

会議結果報告書

1 会議の名称

令和2年度第1回光市男女共同参画推進ネットワーク会議

2 開催日時

令和2年9月17日（木）13時30分～15時

3 開催場所

あいぱーく光 いきいきホール

4 出席人数

光市男女共同参画推進ネットワーク委員18名中14名
行政関係者5名

5 傍聴者

なし

6 公開・一部非公開の別

公開

7 会議の議事録（要旨）

（1）開会

（2）委嘱状交付

（3）市長あいさつ

（4）委員紹介

（5）会長、副会長選任

会長 山根明子委員

副会長 棟近秀樹委員

（6）議事

① 光市男女共同参画推進ネットワークの役割について

事務局より説明

（質疑なし）

② 第4次光市男女共同参画基本計画の策定方針について

事務局より説明

（質疑なし）

③ 男女共同参画に関する市民アンケートについて

事務局より説明

【質疑・意見等】

(委員)

アンケートはすごく硬いなと思った。具体的な事例があった方が、もっとわかりやすいんじゃないかなと感じた。こういう状況を見て、あなたはどういうふうに思われますかとか、特に男性から女性を見たときとか、女性から男性を見たときに、私が育った時代の感覚と、今、現状で問われている感覚とはやはり違うと思う。それが身についていたら、起きていること自体を不思議と思わないということが結構あるんじゃないかなと思う。それをどう思うかっていうのがあれば、わかりやすいかなと感じた。

(事務局)

大変良いご意見をいただき、ご参考にさせていただきたいと思う。

(委員)

このアンケート、なかなか良くできていると思う。今回、特に女性の項目をたくさん入れてもらったので、それがすごく良いと思う。今言われたように、ちょっと硬いところもあるので、もう少し練ってもらって、もう少しわかりやすくなれば良いかなと考える。

それと、もう1点、SDGsと男女共同参画、これをどういう関係で当てはめるといえるか、それがわかれば教えていただきたい。

(事務局)

国が今年、男女共同参画基本計画を新しく作るが、その中に「SDGs」という言葉を入れてきているので、国、県で取り上げることは市でも取り上げたいと思う。

(委員)

国連で採択されているが、男女共同参画とどういう関係になるのか。

(事務局)

ジェンダー平等という部分で、女性の社会的な地位と関係してくるところだと思う。生まれつきの性別もあるが、社会的な性別であるジェンダーの平等が、このSDGsの基本目標の中にある。実は今、コロナの関係で国や県の計画が遅れている。私たちもまだどのような内容か、情報提供されていないので、ご説明がしにくいですが、社会的な平等というところを取り入れていくようになるのではないかと考えている。

(委員)

市民アンケートの1,500人の無作為というのは、地区別や年齢別があるのか。

(事務局)

以前やったときは、ミニ光市的な、地区別とか、いろいろそういうことも考えたが、結果的にはやはりそういう割合で、男女の構成比も地区別的なものになっており、光市のデータ、情報を持っているところがあるので、そこから無作為に1,500人を選び出して、今回はその方に郵送して回答していただこうと考えている。

(委員)

年齢ごととか年代ごととか、そういうことは全然関係ないのか。

(事務局)

例えば、70代に何通、20代に何通というような構成は、送るときには今回はやめようかと。出てきた結果については、年代別というのは情報として出るので、そこを分析して、前回の3次計画の時に私もいたが、もう少し詳しく、年代別の指標みたいなものをチェックすれば良かったかなと思ったが、今回の第4次計画というのはそういう年代別をもう少し詳しく分析してみれば、もう少し違う傾向が見られるのかなと。進んでいる部分と遅れている部分の年代別の特徴とか、そういうものがあるのかなと感じているところである。

大きく地区別というところになると、やはり、大体割合的には、前回の調査でも見てみたが、大体同じような地区の割合、人数の割合になっている。

(委員)

もし、私が答えるとしたら、6ページのあたりは項目が多く、3つを選ぶのに大変苦勞するような気がする。こんなに項目がたくさん要るのかと思う。

(委員)

基本計画の策定方針の中で、今回のアンケートの目的が市民目線での評価に加えて新たな課題の抽出を行うということであったが、先ほどから意見が出ているように、すごく考えられたアンケートだなと思うが、答える側がこれを受け取ったときに、文字を全部読んで答えるかという、ちょっときついかもしれないなというのが正直なところである。

「男女共同参画」という言葉自体が、年齢層でおそらく捉え方の違いがある。最初に説明は書いてあるが、男女共同参画って何だろうというところから、興味を持ってアンケートに書いていただけるのかなと思うので、その辺から少し工夫して、書いてみようか、出してみようかという気持ちになってもらえるようなアンケートになると、意味のある、新たな課題が抽出できるアンケートになるのではないかと思う。

(委員)

今言われたように、私もこのアンケートをもらって、高齢の人とか、最後まで文字を読むのが嫌になって、1,500人のうちの回収率というのは、どれくらいになるのかと思った。

1ページの(6)「あなたにはお子さんがおられますか」に、はい、いいえ、は無く、子どもは1人なのに、設問は「一番下のお子さんは」と書いてあるので、もう少しすつと書けるような書き方とか。(1)の「あなたの性別は」では、3番に自由記述で書いていただくのか、書けるかなとか、その辺もちょっと思う。とにかく字数をしっかりと読み込まないと書けないようなアンケートかなとは思った。

(委員)

皆さんのご意見は、的を射ているなと思った。先ほど、委員さん言われたように、「男女共同参画」ということそのものが、もうちょっと、若い人、ご高齢の方が、言葉の意味というか、これが何なのかという具体的な事例を交えたような説明書きというか、前に4コマ漫画を作っ

たことが以前あったと思うが、そういったわかりやすい表現の何かがついている方が、このアンケートが非常に重要なもの、実は大事なことなんだというものが伝わるような何かと一緒に入っていると、やろうかなという気になる可能性が高くなるのではないかなと思う。

日ごろから、そういった部分に注目されている方は進んで答えてくれると思うが、あまり関心がない、そこまで気にされてない方の回答が、一番真実を語る、的を射ているということになると思うので、そういった方には是非回答をいただきたいと思ったときには、そういうPRチラシではないが、何かあった方がいいかなと思った。

(委員)

先ほどからご意見があるように、文字が多いなというのは、確かにそうだなと思うのと、表紙の半分近くを「ご記入にあたってのお願い」が書いてあるが、こんなに5項目も要るのかなと思った。

それから、中身と余り関係ないことだが、「あなたの性別は」のところ、今までは「男性、女性」だった。私たちの書類は、労働関係の現場にいるが、この4月に様式が変わって「男性、女性、答えたくない」という項目で3つになった。それを見ているので、3番で()が書いてあるのがちょっと違和感があり、注意書きを見ると「なるべく具体的にその内容を記入してください」と。じゃあ、私のジェンダーの「LGBT」と書かなきゃいけないのかという意味にとられるかなというのが、ぱっと見の感想で思った。

(委員)

私も仕事を続けているので、男女共同参画に興味があり、この資料を見て、進化してきたなと思うが、自分の娘が18歳なので、もし10代がアンケートを頂いたとしたら、少し悩んでしまう、わからないような言葉、これはどういう意味だろうと考えてしまう。自分の父と母のことを考えると、80歳、高齢で、70歳代以上のところに当たってしまうと、ちょっと理解しにくい、わからない部分もあるのかなと思ったりしている。

20代から50代の辺は、ジェンダーフリーとか、そういうことがだんだん、家庭を持ったりして浸透してきていると思うが、まだ大学生と、70歳以上の方、今まで父が仕事をし、母が家庭をとという世代の人には少し難しい言葉もあるかなと思うところもあった。

(委員)

男女共同参画は、個々の捉え方によって、年代によっても差があると思う。個人それぞれが尊重されるような、そういうふうな施策で進められるようになったらいいと思うので、年代によって、回答に対してとても迷うところが多いんじゃないかなと思う。

今、無作為に1,500人アンケートを取られるのだが、やはり年代によって集計のパーセントの偏りがあると、施策を進めるに当たって捉え方が偏ってしまうのではないかなと。多い世代、一番必要とされている、今働いていらっしゃる方のご意見と、それと10代、それから今までずっと社会に貢献されてきた方、そのご意見のバランスをどのような形で評価して施策に取り入れていくというところの判断基準、そういうものがきちんと図られて進めていかれたらいいなと感じる。

内容も、社会の今の流れに沿ってどんどん変わってきていると思うが、なかなかついていけない部分もあると思うので、その辺のところも、今、こういう状況に置かれている、働いている方に関してはこういうお答えをいただきたいと。でもこういう立場の方にはという形で、その辺のところに分かれていると、また、それぞれの立場に沿った、年齢的にも、仕事をしていらっしゃる方、それぞれの答えがもらえるのではないかなと思ったりした。

(委員)

アンケートを見ると、何度も読まないといけないというのと、「平等になっている」という言葉と、例えば4ページだが、「優遇されている」とか、言葉に悩む。これは平等なのか、役割の違いなのか、これを平等というのか、何を平等というのか、考えれば考えるほど、アンケートの答えに悩むところがある。

それから、問7で「女性が仕事を持つことについて、どのように考えますか」と、女性だけのことがあって、逆に「男性が家事をする」とか、そういう質問もあったらいいんじゃないかなと思った。

3ページの「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが」という質問だが、これも前の方が言われていたように、年代で随分違うと思う。今はたくさん女性の方も働いて、保育施設の方も充実しつつあると思うけれども、そういう年代がいつている方の考えと、若い方と、アンケートを書きやすい方がいいと思う。

(委員)

前回より項目が増えているし、枚数もすごく多いなと感じた。私が見ても文字が多いし、読むのに大変だったように感じる。項目が増えたことは良いことだが、先ほど皆さん言われたように、幅広い方に読まれるなら、もう少しわかりやすい言葉でもいいのかと思う。

ちょっと気になったのが、7ページ、問14で「結婚されている方におたずねします」という項目に「(6) 育児」という新しい項目が入ったが、「(6) 育児」と「(7) 子どものしつけや家庭教育」は、何が違うんだろうとわからなくて、育児の中にしつけや家庭教育も入ってしまうのではないかなと思って、何が違うのか教えていただけたらと思った。

(委員)

このアンケートを見て、男性と女性、それぞれ受け取り方も答えも違うだろうなと感じた。

それで、「次の中から1つ選んでください」というのは割と選びやすいが、「次の中から3つまで選んでください」というのは、3つには絞れないなというところがあり、特に問12の「女性が活躍するためには」では、これ全部に丸を付けたいと思った。「思うところに丸をしてください」だと、やはり集計が大変なかなと思いながら、3つに絞るのもちょっと難しいなと感じた。

私事だが、仕事を始めるに当たって、夫や家族に相談をしたときに、もちろん反対はせず、仕事するなら頑張るねという感じだったが、みんなも協力する、できることはすると言ったはずなのだが、それは無かったことのように、全然変わらず、私一人が頑張っていたり。でも、言えば子どもも娘なので手伝ってはくれて、家のこともやってはくれるが、やっぱりどうして

もお母さんに負担がいくんだらうなというのは、自分自身で感じた。

でも、夫に聞いても、もちろん助けようと思って、手伝おうと思っている、というところが、そもそも違うような気もするが、だけど、気持ちはあるけど時間的にできない、仕事で帰りが遅くてできなかつたり、疲れてできなかつたり、でも気持ちはあるんだよというアピールは結構してはくれるが、その気持ちだけでもありがたいなと、何とかやっている。

(委員)

私、ぱっと見たときに、1,500人の中で年齢層が70歳代以上、ということは、200人ちょっと、10代もおられるが、220人くらい。ということは、今、委員さん言われたが、6番、7番の方がこの中に結構おられる。やっぱり答えが、問に対して答えられないというか、そういう感じなのに、200人、どうやって選ぶのかわからないけれども。

それと、(1)の「あなたの性別」だが、これは多分3番が出だしたのが、これは避難所の生活のときに、この4年ぐらいで出てきたと思うが、私、山口のネットワークエコーの男女共同参画を十何年やっているが、令和になって、やはり3番が出てきた。ただ、もう性別は削除した。我々もアンケートを取っているが、1番、2番、3番が出たらなかなか難しいということで、もう性別はカットした。先ほど委員さんも言われたが、これはなかなか難しい。ぱっと見て、私はそういう感じを受けた。

それから、前回、回収率はどれくらいだったのか。

(事務局)

前回の回収率は、27年度が45.1%、その前の23年度は36.5%だった。

(委員)

その辺もあるのか、委員さんが言われた、ちょっと難しいというのは、結局、回収率がそのくらいなので、言うのも難しいかもしれないが、配慮していただければと思う。

(会長)

少し時間もあるので、お隣り同士、座談会のように話していただけたらと思う。

(情報交換)

(会長)

一つ質問を出したいが、お一人おひとりの家族で、LGBTの方がいて、男の子だったら、僕は男の人と結婚したい、女性だったら女性同士結婚したいと、もし自分の子どもにそのようなことを言われたらどうされるか。

(委員)

僕はオッケーする。

(会長)

私も同じ意見だが、うちの主人は絶対だめ。もう古いので。

(委員)

僕も古いタイプだが、本人が幸せならそれでいいと思う。うちは2人娘がいるが、もう大分歳だが、娘が女の人と結婚したいと言うんなら、それはまあ、君が幸せになるんだったらいい

よと、僕は言うと思う。

(会長)

でも、まだ隠す家庭が多いので。一般論、本音と建て前は結構違うと思う。なかなか難しい問題、つまりは人権問題で、皆さんが幸せだったらいいかなと思う。

(委員)

うちも娘が1人だが、まだ嫁にもいかず、頑張って会社をやっているが、どうだろう。でも、やっぱり最後は子どもの幸せ、本当に幸せだったら、私も委員と同じだと思う。一人で生きていってくれるのなら、相棒がいて支え合って生きてくれる、その方が幸せなら、それでいいと思う。

(会長)

今、結構孤独死とかある。だから、本当、男性でも女性でも、そばにいてくれる人がいたらすごいありがたいなと思っている。

他に、何かご意見はないか。反対の意見というか。賛成の方なのか、ほとんど。LGBTのことで、自分が、子どもさんのことで、息子さんがいたら男の人と結婚したいとか。

(委員)

賛成。幸せになってほしい。でも、幸せになっても、こんな言い方したらあれだが、結構別れてるね。(笑声)

(会長)

それは男女でも一緒ではないか。(笑声)

(委員)

僕は下松にいたが、アパート300人ぐらいおった、所帯が。その中で若い人がぱっと入ってくる。3分の1は別れる。幸せ、みんな当時はそうだったかもわからんが、現実はそうはいかんと思うよね。

(会長)

でも、男と女もそうなので。

私の考えは、共稼ぎは結構離婚率が高い。相談を受けるが、やはり経済力がないから別れられないとかあるから、やはり男女、女の人も働いた方がいいのかなと。我慢しなくてもいいし。でも、収入の面でもあるし。

一般論だが、やはり男性の方が収入が多い方が仲いいみたい。女の方が、奥さんの方が収入があるとどうも、というのが、大体、一般論。なかなか難しい。

答えがない会議なので、いろんなことを言っていたきたい。あと5分くらい時間があるので、何かないか。

(事務局)

先ほどの皆様のご意見に対して、お話しできる部分だけちょっとよろしいか。

まず、「あなたの性別は」のところ、今回「3 ()」を加えたことについて、これは、山口県が「男女共同参画に関する県民意識調査」を令和元年9月に実施しており、その中でこ

ういう表記（1男性 2女性 3（ ））がされていたことから、今回光市でも入れて、皆様のご意見をお伺いしたいと思った。

やはり、自分は男性、女性と、どちらにも決めたくないという方もいらっしゃる、あるいは、どちらでもある、どちらでもない、いろいろな方がいらして、そういった方の選択肢として考えてみたが、今日午前中、庁内の関係課長の会議があり、この（ ）は要らないのではないかとという意見があった。ただの「3」だけとして、その下に説明文を入れてもいいのではないかと。これについては、もう少し検討させていただきたいと思う。

それから、7ページの間14、「(6) 育児」を他市のアンケートを参考にしてこのたび追加したが、「(7) 子どものしつけや家庭教育」と同じようだというご意見をいただき、そうだなと思う部分もある。子どものしつけや家庭教育については夫がかかわっているけど、育児そのもの、子どもに大変な手がかかる部分については妻の方がかかわっているから項目を分けているのかなとも思う部分もあるが、この表記については、2つをまとめて1つにするのか、やはり、1つ、このように加えるのか、前回同様にするのかというのを再検討させていただきたいと思う。

（会長）

時間になったのでよろしいか。皆様お忙しい中、有意義な会議となったことを感謝している。光市が誰もが輝く社会として、市の取組みの強化をお願いする。

また、ネットワーク委員の18名の方も個人個人で、パンフレットをたまには読み返してもらい、ただの集まりではなく、ネットワーク委員の方が、職場、家庭、いろいろなところにちょっとずつでも男女共同参画を伝えていっていただけたらと思っている。全然解答がない会議であるが、今後ともよろしくお伺いしたい。

（事務局）

皆様から貴重なご意見をいただき、また、会長さんの名司会に感謝する。

堅苦しいアンケート、もっと具体的に等、たくさんのご意見があった。「男女共同参画」という言葉もよくわからない方もたくさんおられると思う。設問の中でわかりやすい文言、また、年代を通じてバランスを考えたような設問、設問や回答の選択肢を短くしたり、読みやすいものにする、設問や回答の個数なども考えながらやればよい等、いろんなご意見をいただいた。

確かに、私たち職員もそうだが、「男女共同参画」という言葉が、非常に馴染みが薄かったり、堅苦しいと。本当はこういう言葉が嫌いだと講師の先生も言われる方が結構多い。ただ、計画を立てる上では私どももこういう言葉を使っているが、今回の皆様のご意見、非常に参考になった。もう一度持ち帰って、私たちもいろいろ考えながら、今後の施策に有効に活用するためにも、多くの皆様からきちんとした回答をいただけるよう練り直し、考えてみたいと思う。

また、お宅に帰って読まれたりして、何かお気づきの点があれば、今月末くらいまでに私どもの方にご連絡いただけたら非常に幸せである。今後も、皆様のご意見をいただくのが一番の場であるので、できるだけざっくばらんに、心から楽しくというのはちょっと難しいかもしれないが、今のようにご意見をいただきながらやっていただけたらと思う。本当に貴重なお時間

をいただき、感謝する。よろしくお願ひしたい。

(7) その他

- ・今後の予定について

(事務局)

今回、ご意見やご提言をいただいた「男女共同参画に関する市民アンケート」を10月頃に行い、その結果分析を来年1月頃までに済ませる予定としている。その後、2月又は3月中に第2回のネットワーク会議を開催し、皆様方にアンケート結果等のご報告をしたいと考えている。

(8) 市民部長あいさつ

(9) 閉会